

平成29年度 第2回那珂市行政評価外部評価委員会 要旨

日 時：平成29年8月9日（水）午前9時00分～午後4時00分

場 所：那珂市役所本庁舎503会議室

出席者：外部評価委員：伊藤伸 委員長、石渡秀朗 副委員長、山本薫 委員、

オブザーバー：中岡才士、永由裕大（構想日本政策スタッフ）

水道課：課長 箕川 覚、課長補佐（総括）矢崎 忠、

課長補佐（総務G長）秋山 洋一、総務G主幹 石川 美智

会計課：課長 小澤 祐一、課長補佐（総括）兼出納G長 高畠 啓子、

議会事務局：事務局次長 清水 貴、事務局次長補佐（総務・議事G長）横山 明子、

農業委員会事務局：事務局長 根本 実、局長補佐（総括）綿引 稔、

局長補佐（農地G長）鈴木 智洋、

事務局：平松行財政改革推進室室長、加藤室長補佐（総括）、金田室長補佐

1 開会

2 委員長あいさつ

政策的な事業でなく、管理的事業の業務プロセスについて議論する方式に変えて2年目になりますが、他の自治体を含めて前例がない中で、昨年やってみて、ある意味噛み合った議論ができたと感じています。担当課の皆さんは、資料を作らされていると感じるかもしれませんが、今回の目的は、「仕事の仕方の見直しができる。」ことや、こういう「フローチャートを作って頂くことによって、業務引き継ぎ資料にも使える」という意味も込めて、作って頂きました。ある意味対決ではなく、一緒に「考える場」になればと思います。

3 業務点検 質疑回答意見等

(1) 水道課 9:00～

- ・業務委託に関しては、検針委託、開閉栓、量水器交換と徴収補助をしているが、委託業務の範囲はどのように決められているのか、実態があいまいに感じる。「職員がやる場所」「業者がやる場所」の基準を作った方がよい。また分ける必要性も特にないと思われるので、最終的には全体の効率を考えて包括委託した方がよい。
- ・公営企業の水道課と特別会計の下水道課とは違うと思うが、徴収業務の連携はしているのか。徴収業務をできるだけ一元化して、徴収コストの削減を図ったほうがよい。将来は上下水道の一元化が望ましいのではないかと。
- ・サービス向上の意味でコンビニ収納を始め、結果的に徴収率は上がったようだが、コンビニ収納の手数料（57円に税）と比較して本当に収納率がどれだけ上がったか、コンビニ収納によるコストをペイできているか、そういう視点は必要だと考える。

(2) 会計課 10:30～

- ・支出伝票は担当課が起こして会計課で1次審査2次審査をする。膨大な伝票があがってくるが間違いが多い。故に会計課のチェックが大変になる。いわゆる部門評価を取り入れたら、例えば課ごとの不備な伝票の返却数とかを公表する。
- ・指定金融機関とのやりとりは紙ベースでやっているが、データでやりとりし、システムに読み込ませれば、労務コストの削減につながる。職員も少ない状況なので、IT化で合理化する。
- ・出張旅費等の資金前渡は、担当課が総務課で決裁をもらい、会計課経由で前途資金をもらう。後で清算する方法だが、かなりの手間と時間を要し厳しい取扱いとを感じる。今のやり方を工夫して、例えば、もっと簡単な方法、月単位の請求による後払いなどはできないか。民間ではここまでの手間をかけることは考えられない。
- ・指定金融機関から領収済通知書をもらって、それを、各担当課が消込をしている。指定金融機関がどういうデータを管理しているかというのを次回にご教示いただきたい。口座引落しの場合は、全国銀行協会のフォーマットで管理している。そのフォーマットでデータ管理していれば、必要なデータは全部もらえるのではないかと。金融機関がそこまでの管理をやらないということであっても、お願いするのは難しい話ではないと思う。

(3) 議会事務局 13:00～

- ・定例会の1週間前に開催される議会運営委員会までに、執行部から提出された議案の振分案の作成、議員からの通告の取り纏め、本会議のシナリオ作成、4つの常任委員会の進行について、委員長と打合せをしたりとかの事前準備が大変だ。議員はどこまで気がついていないのか。議員と事務局との役割分担の見直しが必要では。
- ・定例会後に議事録作成が集中する。要点筆記でやっていた時期もあったが、議員の言っているニュアンスとかそういう部分まで勝手に解釈してしまう訳にはいかないのを止めて、全言筆記となった経緯があるが、ボリュームがあるものなので改善する必要があるのでは。
- ・動画の配信をYouTubeで流しているが、直営で動画を加工している。自前でキャプチャーをつけたりするのに手間がかかる。動画が議事録の替りにならないか。通年議会を始めると、一番大変なのは議会事務局で、調整が1年中続くことになるので、議事録は動画公開で対応しているところもあるそうだ。
- ・議会傍聴は、平均すると1定例会で大体100人ぐらい、多いほうだと思う。
- ・一般質問の答弁を作るプロセスについては、例えば1日だけ議員全員集まってもらって、その場で調整をするとか、合理化する手立てはないのか。
- ・4つの常任委員会をもっているようだが、予算も決算も常任委員会でやるということで、しょうがない気もするが、3月議会と9月議会のボリュームがあって、それ以外はボリュームがない可能性がある。予算審査特別委員会、決算審査特別委員会を設けて常任委員会を減らすという考えもある。

(4) 農業委員会事務局 14:30～

- ・農地転用許可したけれども、その許可を出したときとは違う使用目的に使われている時に、指導なのか、農地法に基づく改善命令なのかかわからないが、もう少し農業委員会の役割の強化をした方がよい。
- ・人員不足で、農転申請の相談等、窓口で待たせる場合が見られる。特に市民とやりとりするような部分については品質向上の面で、できる限り人員を増やしてあげた方がよいのではないか。4条5条の申請件数それから市街化区域の届出件数について、この件数を処理するのに、必要な人工について、近隣市町村と比較した方がよい。
- ・農転申請の窓口の対応について、許可が出そうにない申請は理由を説明して受け付けしないようにして、必要な資料添付とか修正をしてもらってから受付するようにしている。事実上、前捌きが大切で、このプロセスにのれば後の農業委員会の手続きは形式的になると思うが、法改正が必要だという前提で、農業委員会は必置なのかとを感じる。
- ・農地情報システムについて、市のシステムが既にあったが、国で運用が始まった農地ナビがあり、国のシステムの管理が市町村の業務となった。コストの削減のため、統合をした方がよいが、国のシステムは使い勝手の問題があるとのこと。国に意見は言えないのか。

4 その他

- ・次回3回目も同じ議論をしていくが、外部評価委員の中で少しこういう課題があるのではないかということを書き込むことになっているので、多少議論はなぞるところは出てくるとは思う。今回を踏まえて少し議論を深めていきたいと思う。

5 閉会

- ・第3回委員会は10月11日（水）本庁5階で開催する。

